

W A K A

G I

若

樹

校訓：伸びていく 教育目標：自主力・社会力

## 第1号



「善福寺川」

# 杉並区立東田中学校

東京都杉並区成田東 3-19-17

電話：03-3313-1461 FAX：03-3313-4704

## 新年度を迎えて

## 校長 杉田 正穂

私は本年度4月1日に着任しました 校長 杉田正穂と申します。おかげさまで4月9日、晴天の佳き日に新入生86名の入学を祝し、多くのご来賓、保護者の方々にご臨席賜りまして第72回入学式を挙行することができました。2年生96名、3年生108名、全生徒290名（9学級＋通級学級「ひがした」）、全生徒がそろい新しい年度がスタートです。昨年度同様、保護者の皆様、地域の皆様のご理解、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

入学式の式辞では、新入生が充実した中学校生活を送ること願って、三つの心構えをお話しました。

一つ目は、「毎時間の授業に集中し、話をよく聞き、作業や実技をしっかりする」ということです。中学校では、教科ごとに教えて下さる先生も変わります。勉強のやり方や、ノートの取り方、作業や実技の方法など、それぞれ専門の立場から教えてくださいます。真面目にコツコツと学習して積み上げていけば、三年間で大きな力となって身に付くはずですよ。もちろん、家に帰ってからの自学自習も欠かせません。一時間一時間の授業を大切に、受け身の姿勢ではなく、自ら進んで学ぼうとする意欲をもって学習に臨んでください。

二つ目は、「自分の個性を伸ばすことに努めて欲しい」ということです。教科の勉強が得意な人、運動が得意な人、音楽が得意な人、絵を描くことが得意な人など、それぞれの人の得意とするものを伸ばして欲しいのです。やってみたいことを見つけて、楽しみながら個性を伸ばして下さい。また、時には、辛いことも苦しいこともあるでしょう。しかし、それを乗り越えていくごとに、皆さんは大きく成長して中学校生活も充実してくるはずです。自分の個性を伸ばすよう頑張ってください。

い。

三つ目は、「失敗を恐れず、何事にもチャレンジする精神と失敗を反省して工夫する心をもってほしい」ということです。チャレンジしたことは、いつもうまくいくとは限りません。失敗することもあるでしょう。しかし、失敗を恐れていては新しい事にチャレンジはできません。むしろ、失敗を重ねながら反省をして工夫を加えることによって、人間は大きく成長するものです。失敗を恐れずチャレンジしましょう。

この三つの心構えを忘れずに中学校生活を送れば、皆さんの中学校生活はきっと充実したものになるはずです。「初心、忘るべからず」という言葉があるように、中学校に入った時の決心を忘れないようにしてください。

### 【保護者の皆様へ】

本校の校訓「伸びていく」 ～自学 自治 自営 自愛～ 教育目標「自立力 社会力」を基に、自分で考え、心豊かに健やかで、人のために尽くせる自立した社会人になるよう、教職員一同力を合わせて育てていきます。

保護者会でもお話ししましたが、お子様の心と体の変化に伴う言動にどうしたらいいのか悩み、戸惑うことが出てきましたら、ご相談ください。本校の教職員は親身なって相談に応じます。校長室も開いています。校長にも遠慮なくご相談ください。

全教職員一丸となって「親切に、丁寧に、最後まで」を合言葉に教育活動を進めています。保護者の皆様、地域の方々にご理解ご協力ご支援のほどお願い申し上げます。



# 平成 30 年度 教職員一覧

	職 名	氏 名	教科等	
1	校 長	杉田 正穂	経営	
2	副校長	安島 晋	経営	
3	主幹教諭	本田 雅子	国語	3A担任
4	主幹教諭	三田 秀雄	理科	2年副担
5	主任教諭	黒木 英寿	社会	3C担任
6	主任教諭	小池 林太郎	数学	2A担任
7	主任教諭	宮本 裕	数学	3B担任
8	主任教諭	田代 文子	数学	1年副担
9	主任教諭	田中 充	理科	1B担任
10	主任教諭	大羽 美由紀	英語	2C担任
11	主任養護教諭	細川 聖子	養護	1年副担
12	主任教諭	磯部 進一	保体	通級主任
19	主任教諭	土屋 充子	音楽	通級担任
20	主任教諭	渡邊 敦	理科・技術	通級担任
21	教 諭	渡邊 訓子	国語	2B担任
13	教 諭	渡辺 広美	社会	1C担任
14	教 諭	小澤 瑞穂	音楽	3年副担
15	教 諭	杉政 華子	音楽	育休中
16	教 諭	島村 愛美	美術	3年副担
17	教 諭	大西 法子	保体	1A担任
18	教 諭	下島 陸矢	保体	2年副担
22	教 諭	梅木 千紘	英語	1年副担
23	教 諭	千葉 なつみ	音楽	通級担任
24	非常勤教員	伴 知明	保体	3年副担
25	時間講師	竹野 哲彦	社会	
26	時間講師	林 弘泰	理科	
27	時間講師	大野 竜太郎	技術	
28	時間講師	富永 友起子	家庭	
29	時間講師	スミス 志延	通級	
30	時間講師	横森 真里	通級	
31	スクールカウンセラー	饒波 圭祐	教育相談	
32	学校司書	中野 怜奈	図書	
33	学習支援教員	押野 広美	数学	
34	特別支援教員	正岡 朋華	通級	
35	都主査	谷野 清隆	事務	
36	都栄養士	小野 ひろみ	栄養士	
37	区嘱託員	富平 光代	事務	
38	区嘱託員	加藤 智子	事務	
39	技能主任	野牧 聖史	用務	
40	技能主任	野田 育代	用務	
41	技能主任	吉岡 和代	用務	

# 教職員の異動等 (敬称略)

## お世話になりました

### 退職・任期終了等職員

教 諭	村岡 美子	社会	退職
校 長	小松崎 浩		再任用終了
非常勤教諭	吉成 幹雄	美術	任期終了
SC	青島 由美		退職
非常勤講師	久保 恭史	数学	任期終了
非常勤講師	川瀬 悦子	美術	任期終了

### 転出職員

主幹教諭	堤 智一	技術	
主任教諭	丸田 侑介	数学	
教 諭	坪井 康行	通級	
技能主任	藤田 直喜	用務	
補助教員	森本 栄子	英語	

## よろしくお願いします

### 転入職員

校 長	杉田 正穂	経営	
主任教諭	田代 文子	数学	
主任教諭	渡邊 敦	通級	
教 諭	渡辺 広美	社会	
教 諭	島村 愛美	美術	
技能主任	野田 育代	用務	
非常勤講師	竹野 哲彦	社会	
非常勤講師	林 康弘	理科	
非常勤講師	大野 竜太郎	技術	
学習支援教員	押野 広美	数学	
特別支援補助教員	正岡 朋華	通級	

## 東田中学校学校運営協議会委員

会 長 内田 雅克 職務代理 今井 時代  
 委 員 新藤 久典・下嶋 光豊・大平 薫  
 鈴木 睦子・山野井 眞美・吉藤 則子  
 間淵 洋子・鈴木 春乃・菅原 真奈美

## 東田中学校学校支援本部「東田クラブ」

支援本部長 今井 時代  
 菊地 まどか・長南 紀子・近藤 千恵子  
 徳田 靖子・山野井 眞美・鈴木 睦子  
 杉山 美帆

## 在籍生徒数 平成 30 年 4 月 9 日現在

	1A	1B	1C	小計	2A	2B	2C	小計	3A	3B	3C	小計	総計
男子	17	17	17	51	18	17	18	53	21	22	21	64	168
女子	11	12	12	35	14	15	14	43	15	15	14	44	122
計	28	29	29	86	32	32	32	96	36	37	35	108	290

## 誓いの言葉

六年間の小学校生活が終わり、今日から新しく中学校生活が始まります。今、私の胸には、いろいろな気持ちが入り混じっています。一番大きなものはワクワクした気持ちです。運動会や合唱コンクールなどたくさんの行事があります。特にフレンドシップスクール、スキー移動教室、修学旅行が楽しみです。どの行事も、友達と協力し、楽しみたいです。また部活動も楽しみです。同級生はもちろんのこと、先輩方と交流できる場でもあるからです。だから、部活動も一生懸命頑張りたいです。

楽しみがふくらむ中、不安もあります。それは勉強面に関してもです。中学校は小学校と違い、授業の内容が難しく、またペースが速いそうです。そして新しく定期考査があります。だから、しっかり予習・復習をして、苦手意識をもたずに、毎日コツコツやっていきたいです。でも一番不安なのは、友達関係です。小学校の時の友達はいませんが、数は少ないです。今日初めて会った同級生がたくさんいます。まず、声をかけられるかどうかさえ不安です。でも三年間同じ校舎で過ごす同級生です。勇気をだしてたくさんの人に声をかけ、早く仲良くなり、楽しい思い出をたくさん作りたいです。

中学校生活では、文武両道を目指して頑張ります。どちらかを専念しすぎて、もう一方がおろそかになっては意味がありません。だからどちらも本気でやり、両立できるようにしたいです。それから小学校高学年から続けてきた、あいさつと周囲に目を配り、思いやりをもって生活することを心がけています。先生方だけではなく、先輩方や同級生たちにもできるようにしたいです。

これから始まる三年間は、小学校での経験を生かし、心身ともに成長できるようにしたいです。ご迷惑をおかけすると思いますが、先生方、先輩方、同級生の皆さん、よろしくお願い致します。

平成三十年四月九日 新入生代表 佐藤 まひろ

## 歓迎の言葉

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。桜色から若葉へと木々が装いを変えた今日の佳き日に皆さんのご入学をお祝いできますこと、在校生一同、心より嬉しく思っております。東田中学校の標準服を着て、東田中学校の上履きをはき、晴れて新一年生となられた皆さんの表情から、中学生として頑張っているという意気込みを感じます。

皆さんは、中学校での生活についてどんなイメージを抱いていますか、まだ何もイメージできない、という人もいます。

私は、小学生の時に、代表委員や学級委員を経験したことは一度もなく、中学校に入学したときも、生徒会という存在は自分とは縁のないものだと思っていました。ですが、中学一年生の夏に、「小・中学生未来サミット」という行事を見学し、生徒会に興味を持ちました。そして今、私は東田中学生徒会長としてここに立っています。東田中学校内にとどまらず、地域の小学校でも挨拶運動を行ったり、運動会の小中連携競技、玉入れや、エニシングOKの運営に関わったりと、たくさんの方がいる仕事をしています。

中学校生活は、皆さんが考えている以上に可能性に満ちあふれています。皆さんもぜひ様々なことに失敗を恐れず積極的に挑戦してみてください。

私が中学校に入り、小学校との違いに最も驚いたことは、学校行事です。「学級対抗」で行う行事が多く、成功させるためには、学級の仲間と協力し高め合う力が求められます。そのため、一つの行事を終えるごとに、学級の団結力が強まります。

皆さんがいちばん最初に経験する大きな行事はフレンドシップスクールです。学級や学年の友達と仲を深めることができる貴重な機会です。ぜひ楽しみにしてみてください。

他にも、勉強や部活、友達との関係など中学校生活の中で不安や疑問もあるかと思いますが、また上級生とどんなふうに接したら良いのかわからない、という人もいるかも知れません。ですが、今の二年生は一年前に、三年生は二年前に、今皆さんが座っている所に同じように緊張しながら座っていました。私達も中学校生活に様々な不安や緊張を経験しています。何か分からないことや不安があれば、私達上級生や先生に相談してください。いつでも親身になって話を聞きます。そして私達と一緒に、充実した中学校生活を送り素敵な東田中学校をつくって行きましょう。

最後に、皆さんが、東田中学生として活躍されることをお祈りし、歓迎のことばとさせていただきます。

平成三十年四月九日 在校生代表 山田 千穂